

日本三大松島の一つ、九十九島を「世界の美しい湾」へ



先日、仙台市の隣で、日本三景の松島で知られる宮城県松島町を訪れ、櫻井公一町長にお会いすることができました。前々から、松島に負けずとも劣らない景観である九十九島を、同じ「松

の島」つながりで松島町と連携して全国に発信できないかと模索していました。

インターネットで「日本三大松島」を検索したところ、宮城県の松島、熊本県天草市(旧松島町)の松島、そして佐世保市の九十九島とありました。なお、熊本県の旧松島町とは、合併して天草市になる前までは宮城県松島町と姉妹都市交流をしていたとのことで、九十九島については存在は知っていたものの、これまで交流はなかった、とのことでした。

宮城県の松島は、日本三景の一つであると同時に、日本遺産にも認定されています。また、フランスに本部がある「世界で最も美しい湾クラブ」には、日本で最初に加盟しています。

櫻井町長は九十九島の美しい景観を認められ、こ



九十九島(上)と松島(下)の景観

れからは「三大松島」として連携を深めることで意見が一致しました。さらには、九十九島も「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟するよう勧めいただきましたので、今後は協力を得ながら、九十九島が「世界の美しい湾」として認知されるよう、手続きを進めていきたいと思っています。市民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

佐世保市長 朝長 則男



(上)坡州市役所外観(中)坡州市のテレビ局に出演(下)韓国最北端の展望台「都羅展望台」

シリーズ国際交流④  
**姉妹都市・坡州市の紹介 坡州市交換公務員 濱崎 崇**  
 私は佐世保市職員で、こし4月から姉妹都市である韓国坡州市に交換公務員として派遣され、現在、坡州市役所に勤務しています。これまでは国際交流担当チームに籍を置き、市内の観光施設の視察や市広報誌の記事作成などを行い、今後は観光関係の部署で研修等を受講する予定です。今回は坡州市のことなどを紹介したいと思います。

坡州市ってどんなところ？

人口は約43万人。韓国の首都ソウルから車で北に約1時間のところにあります。北朝鮮との国境のまちで、DMZ(非武装地帯)観光地には多くの観光客が訪れます。他にもたくさん観光地やアウトレットモールがあり、ドラマのロケ地になったところも多く、とても魅力的なまちです。

韓国での生活  
 韓国は日本より物価が安いと思ってる人も多いと思いますが、ほとんど変わらないうちに思っています。むしろ日用品は韓国の方が高い印象があります。ただ、交通費は安いです。電車だと2000円くらいでソウルまで行けますし、高速バスで仁川空港(約1時間)まで行っても7000円くらい。韓国で車がなくて私にとっては大変ありがたいです。

こみは週1回収集です。生ごみと一般ごみを分け、指定のごみ袋に入れます。生ごみはリサイクルされ、飼料等になるようです。

このほか「弁当文化がない」「一人でご飯を食べない」など、日本と違うところも多々ありますが、地元の皆さんにいろいろ教わりながら楽しく韓国文化を学んでいます。今後は佐世保の良さを伝えながら、両市の懸け橋になれるように努力したいと思います。

国際政策課 ☎24-1111

させぼ市政だより キラっ都させぼ「九十九島でクルージング」

佐世保の宝物「九十九島」。9月放送では、九十九島の日にちなんで開催される「たのしみマンス」や九十九島を巡る多彩なクルージングメニューなどについて朝長市長がお知らせします。



8月放送分の収録の様子。動画はパソコンやスマートフォンからも視聴できます。



秘書課 ☎24-1111

放送スケジュール	
9月 3日④、17日④	9時25分(NBC)、11時45分(KTN)
9月10日④、24日④	11時40分(NCC)
9月11日⑤、25日⑤	6時30分(NIB)
毎週日曜	18時55分(テレビ佐世保)

人の動き

8月1日 現在

- 総人口 251,434人(-87人)
- 男性 118,235人(+16人)、女性 133,199人(-103人)
- 世帯数 106,489(+7世帯)
- ※7月中の動き
- 転入 598人、転出 652人、出生 195人、死亡 228人

させぼ市政だより

- テレビ
- NBC 土曜9時25分～30分、NCC 土曜11時40分～45分
- KTN 土曜11時45分～50分、NIB 日曜6時30分～35分
- ラジオ
- NBC 日曜 9時25分～30分、FM長崎 火曜 9時5分～10分
- FMさせぼ 火曜10時30分～35分、日曜 9時30分～35分
- 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

徳育通信 54

聞いて「徳」する話⑯ お礼ができる5歳の子ども

今から2年前、横浜の曹洞宗の大本山「総持寺」参拝を目的にして、お伊勢さん、吉野山と3泊4日の行程で旅行したときのことで。

1年生にもならない男の子が1人、祖父母と一緒に参加していました。かわいい声とかわいい内容の話を誰にでも話し掛けるかわいい男の子でした。しかし、乗り物の中を走り回ったり、いたづらをしたりすることはありませんでした。

いよいよ旅も終わりに近づき、名古屋駅から3日間お世話になったガイドさん、運転手さんと別れの時が近づきました。大人はそれぞれに拍手をしたり、お礼を言ったりしています。そんな時、「楽しかった～」という声。男の子がガイドさんにお礼を言っていました。運転手さんにも「また連れて行ってね」と握手をしてい

ます。わずか5歳の子どもなのに。気遣いのできるその子の言葉にジーンとききました。

優しい心を育てた家族と、それを素直に受け止めている子どもの心のキャッチボールをしている様子に、胸が熱くなりました。

瀬戸越町 江口ハツ子(70代)

「聞いて徳する話」募集中

身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙に必要事項を記入し、事務局に応募してください。応募用紙は市HPからどうぞ。  
 【事務局】佐世保徳育推進会議(佐世保市教育会内)  
 〒857-0054 栄町4番11号 電話・ファクス 23-2856  
 Eメール sasebotokuiku@alpha.ocn.ne.jp

※この徳育通信を切り抜いてノートに貼り、「徳育ノート」として家庭で保管しましょう！